

学校・家庭・地域の連携・協働により、地域全体で子どもたちを見守り、育てる取組を推進するため、地域とともにある学校づくりを進め、家庭や地域との信頼関係を確立するとともに、関心をもって地域課題等の理解に努め、地域への愛着や誇りを育む教育に積極的に取り組む。

### 令和2年度 重点実践事項

● 学校・家庭・地域が連携・協働した「地域とともにある学校」づくりの推進

実践目標

1

「地域とともにある学校」づくりを推進する

#### ①教育活動の公開

全

オープンスクールやオープン・ハイスクールを通して、保護者や地域の人々等に教育活動を公開し、各学校園の魅力・特色等に関する情報を発信する。

#### ②学校園運営に関する情報提供

全

学校園だよりの発行やホームページの更新、地域のケーブルテレビや広報誌の活用等により、家庭・地域との連携を一層推進するための学校園運営に関する新しい情報を日常的かつ積極的に提供する。

#### 重点! ③学校の教育資源の提供

全



地域の人々への学校施設の開放や高等学校地域オープン講座の開設、高校生のふるさと貢献・活性化活動の充実等、地域との関係づくりに努める。また、児童クラブの開設に際しては、市町福祉部局とも連携を図り、余裕教室等を提供するなどの取組を進める。

#### 重点! ④地域住民の参画の推進

全社



学校と地域が連携・協働のもと、地域の実情を踏まえながら地域コーディネーター等を活用するなど、地域全体で子どもたちの成長を支えていく活動を推進する。

地域と学校の連携・協働体制構築事業(地域住民による学校・学習支援活動・体験活動)や「ひょうごがんばり学びタイム」、トライやる・ウィーク等の機会を活用し、子どもたちの成長を支援する教育活動への地域住民の幅広い参画を推進する。

#### ⑤地域住民との交流促進

全

「地域とともにある学校」づくりの組織的な取組を推進し、地域住民によるボランティア活動を受け入れたり、地域住民と幼児児童生徒との交流を促進したりするなど、地域の教育力を活用し、学校園の教育環境を充実する。

### 地域連携スキルアッププログラム

幅広い地域住民等の参画による、地域と学校が連携・協働して子どもたちの学びや成長を支える活動(以下「地域学校協働活動」という)の深化・充実を図るため、先進的な取組を取り入れながら、地域課題の解決に向けた新たな取組を実践している。

#### ～地域への愛着や誇りを育み、学校・家庭・地域の交流を促進するプログラム～

○山手小学校地域連携スキルアッププログラム(芦屋市)

異年齢・異世代が関わり合い、コミュニケーションのとれる関係づくりを目指した「子どもの居場所づくり」(あしやキッズスクエア)の取組を更に拡げ、地域の方や学芸員等の指導による体験プログラムを実施している。協力者を幅広く募り、子どもたちが多様な人々と関わり、共に学び、成長し合える関係づくりを大切にしている。

子どもたちは自分たちの暮らす町をより深く知ることで、地域への愛着や地域とのつながりを深めることができ、地域の人々とあいさつを交わすことができる関係を構築することにつながる、新しい地域学校協働活動となっている。



会下山遺跡での古代文化体験  
(文化財を活用した体験プログラム)